



木曾岬小学校だより



自分で課題を見つけて 探求していく力を育みたい!

2025年1月20日

3学期始めの学校だよりで、始業式で「なぜ」「どうして」といった問いを大切にして学習を深めてほしい、という話を子どもたちにしたことをお伝えしました。

これまでも、学びに向かう力の育成を図ることを大切にしてきましたが、どういう姿のことかを具体的に伝えたいと思い、「なぜ」「どうして」といった問いが学びのスタートになるので大切にしてほしいと考えました。

学校生活では、授業においては、課題設定や学びの形態（個別、グループ等）の工夫を図ることで、考えを深めたりまとめたりするような教育活動の充実に努めています。



小学校では、令和2年度から、新しい学習指導要領のもとで教育活動が進められ、高等学校においては、令和4年度より年次進行で実施されてきています。このような時代背景のもとで、三重県の高等学校では、学科改編が行われました。初めて、令和7年度「探求科」が設けられます。

また、愛知県では、中高一貫教育を進める県立学校が設けられます。そこで、入試問題にも変化が見られました。「アサリの酒蒸し」の調理手順に関する設問が出され、問題の一部がインターネット上にも挙がっています。これまでとは異なる出題となりました。解答を導くにあたっては「アサリの酒

蒸し」の調理経験があれば…ということではなく、問題文をよく読み込んだうえで、解答を見つけ出すということになります。生活経験とともに、「読解力」が重要となってきます。

まずは、「こうなるのは、なぜ? どうして?」「これからはどうなっていくのかを知りたい、考えたい」など、身のまわりのことに興味・関心を持つことが第一歩となります。次に、解決に向けた学びとして自分で調べる活動（自力解決：読書等）が始まります。その内容をもとに、なかまとともに、学びを深めたり、広げたり、繋げたりすることを通じて、様々な知恵や発想を繋ぎ合わせて、課題解決に挑んでいく力（姿）こそが、学びに向かう力（姿）となっていくのでは…と思います。

「なぜ」「どうして」といった問いを立て、なかまとともに、その課題解決に向けた学習を深める（探究）力の育成という点では、ご家庭でも、お子さんたちが発する問いを受け止め、学習を深める姿を支援していただければ…と思います。ご理解・ご協力、ご支援をよろしくお願いいたします。

明日、学校公開日（午前）、よろしくお願ひいたします!

1月21日(火)1~4限目、今年度最後の学校公開となります。ぜひ、この一年間で成長した姿を見ていただければ…と思います。

各学年・学級の当日の時間割は、1階昇降口の掲示版辺りにてご確認ください。

参観の際には、廊下の展示や掲示版もご覧いただければ…と思います。1階昇降口の掲示版前には、三浦知良さんから寄贈されたサッカーボールを展示しています。

また、読み聞かせや読書支援で来校いただいている小幡章子さん推薦の図書についても掲示しております。さらに、1階理科室奥には、3年生による「どてカボチャ」の栽培記録も掲示しております。その他、2・3階の配膳室の扉には、お正月の「おせち」に関する掲示をしておりますので、ご覧いただければ…と思います。



全国的に感染症の拡がりが見られるとの報道があります。改めて、手洗い・うがい、体調によってはマスクを着用するなど、予防に努めましょうということを伝えています。ご理解・ご協力をお願いします。